

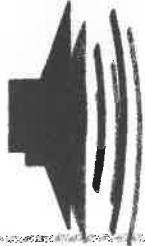
KHJ親の会・北海道「はまなす」

今月はお知らせだけです。

5月にお一人から高額な寄付をいただきました。ありがとうございます。

～北郷～

次 回 月 例 会 の ご 案 内



- ・ 日 時 : 平成30年7月28日(土) 午後1時30分～
- ・ 会 場 : 札幌市ボランティア活動センター 研修室 A
- ・ 資料代 : 会員300円(1家族)・非会員500円
- ・ 若者が集う部屋「すなはま」 : 活動室 (無料)



☆7月以降の例会開催日→8月25日【札幌市ボランティア活動センター】: 9月22日【】

§「すなはま」の部屋 →8月25日【札幌市ボランティア活動センター】: 9月22日【】

◆「はまなす」からのお知らせ

◎「はまなす」無料相談会&おしゃべりタイム

日時: 毎月第2土曜日 PM1:00～4:00 7月は21日(土)です。

場所: 札幌市ボランティア活動センター 活動室 (会場の都合です)

(中央区大通西19丁目札幌市社会福祉総合センター4階)

◎7月の例会はミニ学習会として前半に、ひきこもりサポーター養成「平成29年度インターネット配信研修会」(こころのリカバリー総合支援センター)のDVDを視聴します。

◆札幌市がひきこもり支援で6月から居場所開設!

先月もお知らせしましたが、札幌市はひきこもり支援のための居場所「よりどころ」を6月から来年2月まで当事者会と親の会をそれぞれ委託事業として開設する事になりました。委託を受けた特定非営利活動法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワークと札幌市ひきこもり地域支援センターが実施主体となり運営されます(別紙案内チラシ参照)。第1回は6月13日(水)に当事者会が開かれ北海道新聞に載りました(別紙)。親の会は6月25日(月)午後1時～4時かでの2・7の540会議室で開催されますので、参加して居場所を活用しましょう。

◆さっぽろ子ども・若者支援地域協議会の平成30年度セミナー「札幌の子ども・若者の貧困対策を考える」と第1回実務者会議が6月22日(金)午後開催され、北郷会長が出席しました。

◆薬物治療中心の精神医療に、フィンランド発祥の治療法「オープンダイアログ」(「開かれた対話」と訳される)が有効と日本でも医療現場での実践が始まっていると北海道新聞に記事が載りました。斉藤環筑波大教授はひきこもりの治療への応用を進めていると書いてありましたので、参考になる点があるのではと思いお知らせします。(別紙)

◆『北方ジャーナル』7月号の記事、ルポ「ひきこもり」④「ある女性の告白から考える(前篇)ーひきこもりから孤独死に至る負のスパイラルの危険性とはー」をお届けします。(別紙)

☞ <http://hokkaidou-hamanasu.com/>

30・6・23 (Ⅱ・80号)